

平成11年/'99

8

No.691

平成11年8月10日発行

広報 つるが



やった!
甲子園だ!

8回裏、福商の追い上げを堅い守りで阻止
そして、粘りの野球が実を結び、19年ぶり
17回目の甲子園出場を決めた。



contents

- 市長へのメッセージ・・・2
- 魚や海水浴も心配ありません・・・3
- みなと博 コレクション・・・4~5
- 街角スケッチ・・・6~7
- おしらせほか・・・8~16



敦賀港開港100周年
7月18日(日)~8月16日(月)

日本原電(株) 敦賀発電所 2号機 一次冷却水漏れ事故

魚や海水浴も心配ありません

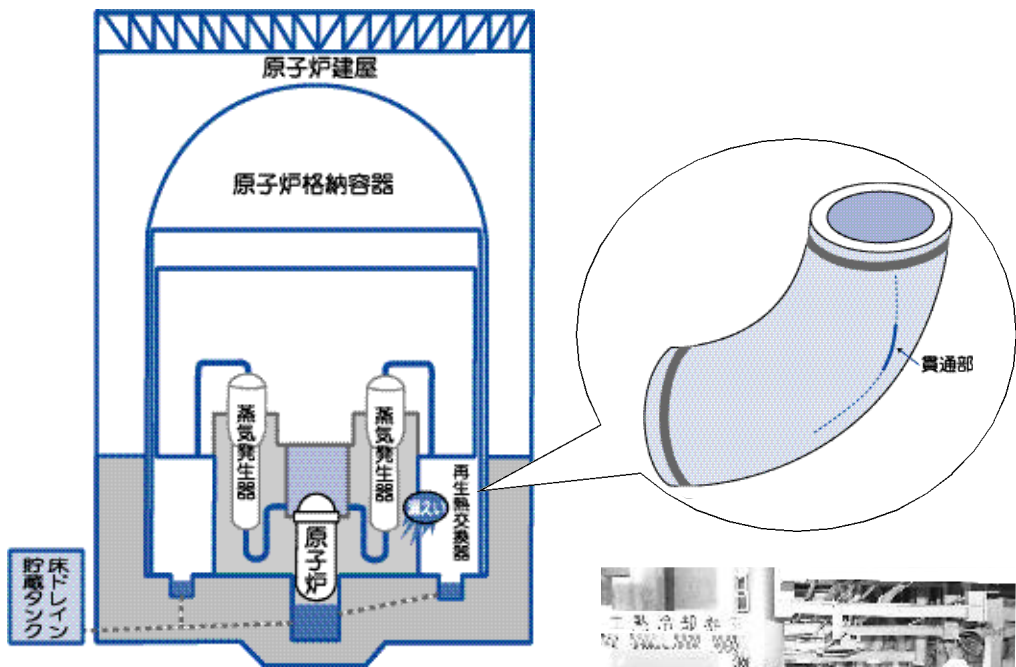


日本原電 鷲見社長が河瀬市長に陳謝

7月12日、敦賀発電所2号機において、51トンの一次冷却水が漏れいする事故が発生しました。

しかし、事故は下図のように原子炉格納容器内の発生であったため、冷却水は外部に漏れず、地域周辺への放射能漏れもなく、環境安全上の問題はありませんでした。

魚を食べても、海水浴をしても心配ありません。



現場視察する河瀬市長

事後発生後、直ちに「防災放送(9ch)」で第1報と環境への影響(影響なし)について放送。さらに、職員を現場に派遣し、データ類の確認作業を行いました。さらに、第2報、第3報の防災放送を行うとともに、7月17日、市長自ら事故現場(再生熱交換器室内)に入り、状況を視察しました。その後、通産省の佐々木審議官に対して、次の改善策を強く要請しました。

国への要請
国は、早急に原因究明と、抜本的な安全対策を講ずること。
原子力発電所の事故発生時に、国が前面に出て、総括的指揮をとること。
原子力発電所の定期検査を充実強化すること。
早急に風評被害の発生防止対策をとること。

事故の経過

- 7月12日
 - < 6時05分 > 冷却水の漏れいを検知
 - < 6時24分 > 出力降下を開始
 - < 6時48分 > 原子炉を手動停止
 - < 19時10分 > 漏れい場所を確認
 - < 20時29分 > 漏れいの停止を確認
- 7月13日
 - < 14時40分 > 市長が日本原電向副社長に申し入れ
 - < 15時40分 > 漏れい水の移送を完了
- 7月17日
 - < 11時20分 > 市長が事故現場を視察
- 7月19日
 - < 13時00分 > 日本原電 鷲見社長が市長に陳謝
 - < 16時52分 > 配管を切りだし、検査施設(茨城県東海村)へ移送

397通 710件

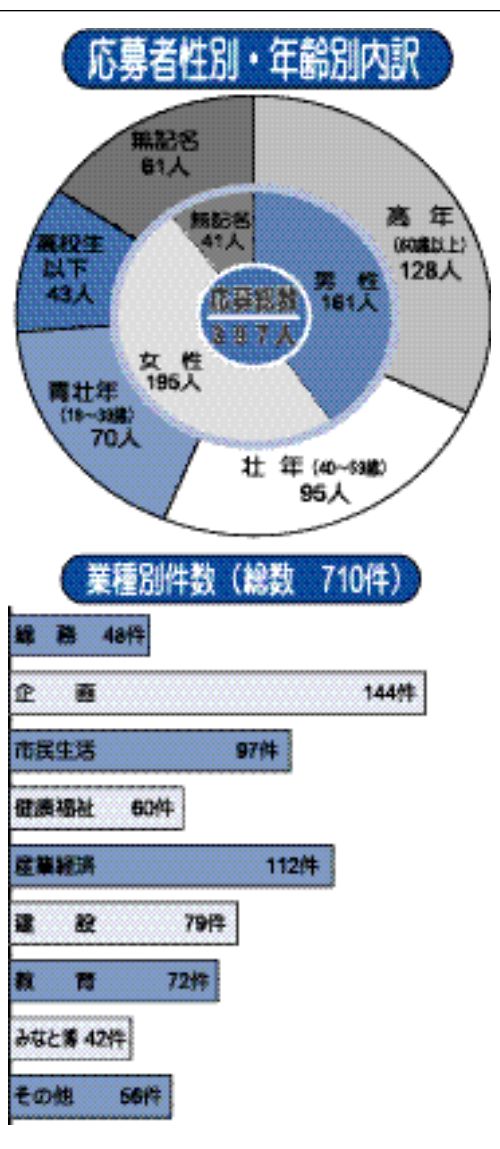


市長へのメッセージ

読ませてください

6月1日から30日に亘り、ふるさと敦賀をテーマに募集しました。市長へのメッセージに、397人(710件)のみなさんから思いを込めたメッセージが、市長の元に届きました。7月6日、早速市長は届いたメッセージに自らハサミを入れ、公務の合間を縫って1通1通目を通していきます。メッセージの内容は、提案や要望が358件、意見や照会が193件、苦情や相談などが159件でした。今回は「つるが・きらめき みなと博21」の開催を間近に控えた時期であったため、み

など博に関することやイベント後の跡地有効利用などについての提案が多く(358件中271件)寄せられました。その他にも、敦賀の街を活気づかせるための観光客の誘致、また、そのための整備や環境づくり、さらに、公園などの美化・整備に真剣に取り組んで欲しいなど様々な提案や要望が寄せられました。これらに応え、行政チャンネルや広報紙を通じ、それぞれに対する市長の思いをみなさんにお伝えしていきます。



100 敦賀港開港 100 周年記念事業

つるが つるが・きらめき みなと博21



五木ひろしコンサート
五木ひろしさんが歌う、敦賀港開港 100 周年イメージソング「君に逢いたい」にあわせて、日頃練習を重ねてきたみんながステージで踊り、コンサートに華を添えました。



ミュージカル「ライブ・ファンタジア」

企業パビリオンの人気ミュージカルに連日出演の美尾谷織位さん（岡山2：写真上）と渡邊恵美子さん（萩野町：写真左）



水前寺清子と一緒に踊ろう！

水前寺清子さんが矢倉の上で「敦賀とてもすきすき」を歌い、集まったおよそ 1,600 人が会場狭しと踊り、その歌声に酔いしれていました。



ストリート・パフォーマンス



ボランティアのみなさん

一声掛けパンフレットを手渡す人、黙々と場内のゴミを拾ったり、集める人、そして、笑顔でカメラのシャッターを押す人。様々なボランティアが会場の中にいます。「きれいだね。」「親切だね。」そんな声があちこちから聞こえてきます。みんな真っ黒です。ご苦労様！

欧亜国際連絡列車



みなと博開催の日、新橋・金ヶ崎間を走った「欧亜国際連絡列車」と敦賀港・ウラジオストクを結んだ定期航路「欧亜国際連絡船」が再現されました。

みなと博
コシクミヨ

往時のロマンを再現



欧亜国際連絡船



入場者30万人突破！（8月1日）

FMきらめき

イベントFM

に敦賀から参加したみなさん。連日会場内を駆け回り、そして、マイクに向かい、朝から晩まで、みんなに楽しい情報を伝えてくれます。



原 奈津美さん（鋳物師）



井上 洋子さん（山泉）



山本 紀実さん（赤崎）



海の貴婦人「日本丸」が寄港



心が通う「おもてなし」

子どもたちも夏休み返上で参加しています。